橋台の設計・3D配筋 (部分係数法・H29道示対応) Ver.2

計算・CAD統合　3D配筋対応

H29道路橋示方書に準拠した
橋台の設計計算、図面作成

プログラム価格
￥389,000
翼壁拡張オプション（H29道示対応）
￥30,000
Windows 7/8/10 対応
電子納品　SXF3.1
IFC　3D PDF
有償セミナー

本製品は、公益社団法人 日本道路協会より平成29年11月に発刊された道路橋示方書・同解説を参考に、橋台の設計に対応したものです。

【H24道示対応製品との違い】

- 作用の組合：以下のように変換

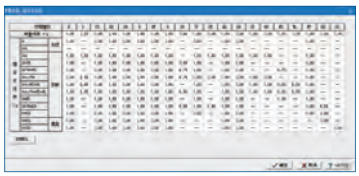
H24年道示	H29年道示		H24年道示	H29年道示	
常時(死荷重)	永続作用	D	常時(死荷重+活荷重)	変動作用	D+L
地震時荷重	変動作用	D+EQ	常時(温度荷重)	変動作用	D+TH, D+L+TH
衝突時	偶発作用	D+CO	常時(風荷重)	変動作用	D+WS, D+L+WS

- 上部工反力：死荷重はD，活荷重はLとして設計に考慮。それ以外の温度荷重や風荷重についてはその他作用として考慮。

Ver.2 改訂内容　2018年 1月 31日リリース

1. 平成29年11月 道路橋示方書・同解説対応
2. 胸壁、翼壁部材の地震時温度変化荷重（D+TH+EQ）ケースの照査対応
3. 単独設計時の杭基礎において、杭頭接合部の照査に対応

▼作用組合せ



▼永続／変動作用組合せ画面

箱式橋台の設計計算 (部分係数法・H29道示対応) Ver.2

H29道路橋示方書に準拠した
箱式橋台の設計計算

プログラム価格
￥389,000
底版、翼壁拡張オプション
（H29道示対応）
￥50,000
Windows 7/8/10 対応
電子納品　3D PDF

本製品は、公益社団法人 日本道路協会より平成29年11月に発刊された道路橋示方書・同解説を参考に、箱式橋台の設計に対応したものです。

【荷重係数，部材係数】

- 作用力に荷重係数、組合せ係数を考慮
- 部材の制限値に部材・構造係数等を考慮
- 部分係数データのファイル保存／読込が可能。下部工－基礎間で同じ係数を使用したい場合等に利用可能

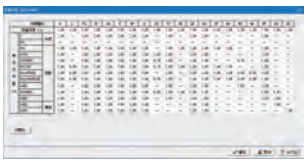
【他製品との連動による設計】

- 「基礎の設計・3D配筋（部分係数法・H29道示対応）」
- 「深礎フレームの設計・3D配筋(部分係数法・H29道示対応)」
- 「震度算出（支承設計）（部分係数法・H29道示対応）」

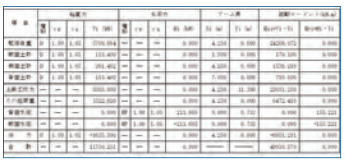
Ver.2 改訂内容　2018年 2月16日リリース

1. 平成29年11月 道路橋示方書・同解説対応
2. 胸壁、翼壁部材の地震時温度変化荷重（D+TH+EQ）ケースの照査対応
3. 単独設計時の杭基礎において、杭頭接合部の照査に対応

▼荷重係数、組合せ係数画面



▼計算書出力（作用力の集計）



ラーメン式橋台の設計計算 (部分係数法・H29道示対応) Ver.2

H29道路橋示方書に準拠した
ラーメン式橋台の設計計算

プログラム価格
￥284,000
翼壁拡張オプション
（H29道示対応）
￥30,000
Windows 7/8/10 対応
電子納品　3D PDF

本製品は、公益社団法人 日本道路協会より平成29年11月に発刊された道路橋示方書・同解説を参考に、ラーメン式橋台の設計に対応したものです。

【部分係数法】

- H29道示に準じて適切な値が設定。係数を自由に変更可能。
- 部分係数データをファイルに保存し、H29道路橋示方書対応製品間連携可能

【他製品との連動による設計】

- 「基礎の設計・3D配筋(部分係数法・H29道示対応)」
- 「震度算出(支承設計)(部分係数法・H29道示対応)」

【H24道示道示対応製品との違い】

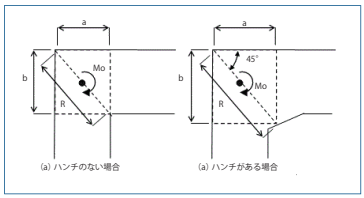
- 従来の隅角部の照査にかわり、端接合部の照査を行う。

Ver.2 改訂内容　2018年 2月 20日リリース

1. 平成29年11月 道路橋示方書・同解説対応
2. 胸壁、翼壁部材の地震時温度変化荷重（D+TH+EQ）ケースの照査対応
3. 単独設計時の杭基礎において、杭頭接合部の照査に対応

▼調査・解析係数、部材・構造係数、抵抗係数入力画面

▼端接合部の照査を行う断面（外側引張）



フーチングの設計計算 (部分係数法・H29道示対応) Ver.2

H29道路橋示方書に準拠した
フーチングの断面照査プログラム

プログラム価格
￥78,000
Windows 7/8/10 対応
電子納品　3D PDF

本製品は、公益社団法人 日本道路協会より平成29年11月に発刊された道路橋示方書・同解説を参考に、フーチングの断面照査に対応したものです。

【部分係数】

- 係数の考慮は、自重、土砂重量、過載荷重，その他荷重
- フーチング下面の作用力，柱基部断面力，杭反力について、予め係数を考慮した値を直接指定
- 自重，土砂重量，過載荷重，その他荷重です。安定計算や柱，上部工計算を行いませんので、フーチング下面の作用力，柱基部断面力，杭反力については、予め係数を考慮した値を直接指定。

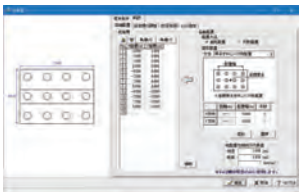
【他製品との連動】

- 「基礎の設計・3D配筋（部分係数法・H29道示対応）」、「橋脚の設計・3D配筋（部分係数法・H29道示対応）」からエクスポートしたXMLファイルを読み込むことにより、形状，配筋，杭配置，荷重ケース等の諸条件の取り込みが可能

Ver.2 改訂内容　2018年 2月 20日リリース

1. 平成29年11月 道路橋示方書・同解説対応
2. 基準値画面のコンクリート材質及び鉄筋材質の追加機能対応

▼杭配置画面



▼その他荷重画面